

茶室工事だより

Vol.4 天井裏・工事中のみ出現！

工事中しか見られない貴重な光景をご紹介します。詳細は是非You Tubeでご覧ください。

- 聴泉亭の天井裏には、通常は茶室の床柱などに使用される良い材料である栗材を軒材として使用しています。
- 聴泉亭にある残月の間の床は、押し入れの中にある鎖のチェーンを使って、天井の高さを変えることができる珍しい床になっています。
- 照明(大正時代)の先端には端子が付いており、直接柱に接続することで電気が付く仕組みになっています。



天井裏の様子



滑車



可動する床の天井



照明の取付



動画をご覧ください